

高品質肉生産用 F₁ 母鶏

農業研究センター 畜産研究所 中小家畜部
担当者：松崎 正治

研究のねらい

高品質鶏肉生産用の母親としては、ロードアイランドレッド種か白色プリマスロック種が多く使われているが、それぞれに長所短所がある。

そこで、熊本県農業研究センターが造成した産卵率の良い大型のロードアイランドレッド種（以下「RIR」と称する）と、農林水産省家畜改良センター兵庫牧場の劣性白色遺伝子を持つ白色プリマスロック種第13系統（以下「WR」と称する）を利用して、双方の利点を合わせ持つ有色（褐色）・大型で産卵性能の優れた母鶏を作出した。

研究の成果

1 RIR × WR の交配による F₁ 母鶏の性能

(1) F₁ 母鶏の羽色

褐色または黒褐色を呈する。

(2) 種卵の生産性

産卵率、種卵収得率、適格種卵産卵率、飼料要求率、経済性の何れも両親の RIR と WR の性能を上回り、高い種卵生産性を示す（図1）。

(3) 卵の形状

卵殻色は両親より濃く、卵重も大きいので種卵として使わない場合の食卵としての利用価値が高い。

2 F₁ 母鶏を使った肉用鶏の性能

熊本コーチン（以下「KC」と称する）を交配した肉用鶏（KC × F₁）は、従来の肉用熊本コーチン（KC × RIR）より発育が良く、12週齢で出荷することができる（図2）。

普及上の留意点

- 1 逆交配 WR × RIR では F₁ 母鶏および肉用鶏の羽色に横斑がでる。
- 2 F₁ 母鶏は制限給餌で飼養することによって大幅に経済性が高まる。

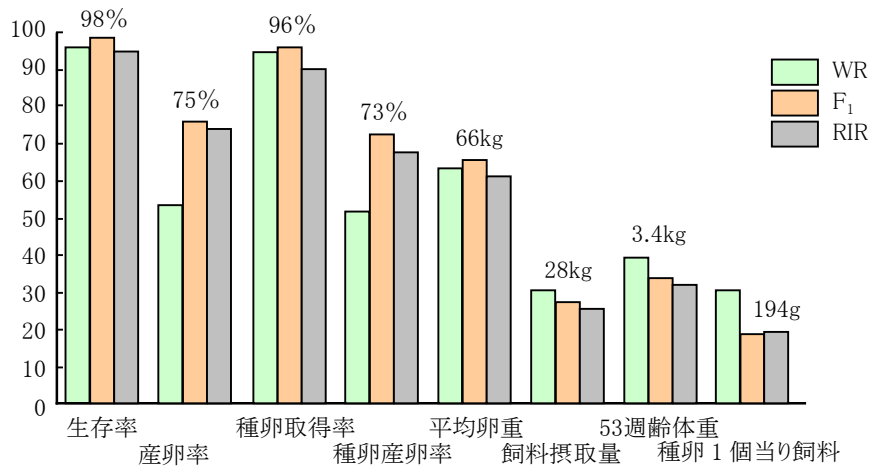


図 1 WR・F₁ RIR (25~53 週齢) の成績

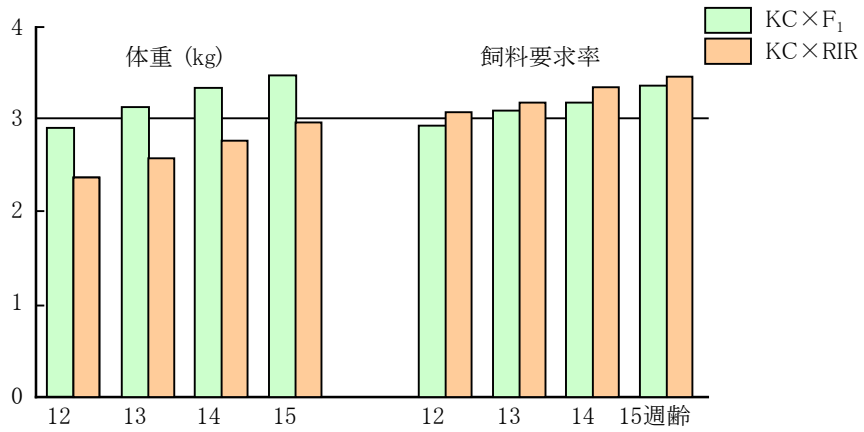


図 2 肉用鶏の体重と飼料要求率



写真 1 F₁ 母鶏